

| | |
|---------------------|---|
| 大阪有機化学工業株式会社 | |
| 第 79 期定時株主総会 質疑応答要旨 | |
| 日 時 | 2026 年 2 月 26 日 (木) 10 : 00~10 : 43 |
| 場 所 | ゼント心齋橋ビル 3 階 TKP ガーデンシティ PREMIUM 心齋橋 「バンケット 3A」 (大阪府中央区南船場四丁目 3 番 2 号) |

【質疑応答要旨】

| | |
|-----|--|
| Q-1 | EUV 関連材料の売上減少について |
| A-1 | <p>【代表取締役社長 安藤昌幸】</p> <p>EUV 関連材料は依然として研究開発段階の製品が多く、案件ごとに採用時期が異なることから、決算時点での出荷量に変動が生じます。将来有望な案件を多数抱えており、悲観的に捉えておりません。</p> <p>【管理本部長 本田宗一】</p> <p>EUV 関連材料は、2022 年頃より開発案件が増加し、2024 年には複数の試作・評価案件が進捗いたしました。一方、依然として研究段階の案件が多く、2025 年度実績には変動が生じております。</p> <p>なお、顧客からの引き合いは増加傾向にあり、今後の事業展開に向けて期待できる状況でございます。</p> |
| Q-2 | 株主への個人投資家説明会の事前案内について |
| A-2 | <p>【管理本部長 本田宗一】</p> <p>説明会の案内はホームページで公開していますが、一般株主様への直接のご案内は現状行っておりません。</p> |
| Q-3 | 株主懇親会の開催および飲料提供について |
| A-3 | <p>【管理本部長 本田宗一】</p> <p>懇親会の開催につきましては、株主平等の原則並びに運営上・安全面での観点から、現在は実施しておりません。</p> <p>また、飲料の提供につきましても、同様の理由により実施しておりません。</p> |
| Q-4 | 2nm 半導体を含む半導体関連材料の研究開発状況について |
| A-4 | <p>【代表取締役社長 安藤昌幸】</p> <p>当社主力製品の半導体用材料である ArF レジスト用モノマーや EUV レジスト用モノマーは最先端半導体の前工程で使用されるレジスト材料の原料となり、当社の主戦場となっております。EUV 向けについては 2nm をターゲットとした材料開発を進めており、また周辺材料についても研究開発を推進しております。</p> <p>【技術本部長 徳田雄介】</p> <p>2nm 世代に加え、その先の世代もターゲットに研究開発を行っております。先端</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>半導体材料分野においては、求められる技術開発のスピードは一段と加速しており、品質に対する要求水準も一層高まっております。</p> <p>こうした状況に対応するため、当社では最新設備の中量実験室の稼働により、顧客との連携を強化し、開発を進めております。</p> |
| Q-5 | 株主向け工場見学について |
| A-5 | <p>【管理本部長 本田宗一】</p> <p>当社工場には機密性の高い工程が多く、一般株主の皆様にご見学いただくことは難しい状況です。これまでにアナリストの皆さま向けに限定的な見学を実施した実績はございますが、一般公開は慎重に判断しております。</p> |
| Q-6 | 補助金（約 31 億円）の内容について |
| A-6 | <p>【代表取締役社長 安藤昌幸】</p> <p>当社が申請した補助金の約 31 億円につきましては、2023 年度に実施した約 86 億円の設備投資に関連するものです。これらの投資は、コロナ禍におけるサプライチェーン強化策として国が示した方針に基づき進めた案件です。</p> <p>当社は新しい半導体材料に関する設備投資について補助金を申請し、現在すでに設備は稼働しております。半導体関連設備への約 86 億円の投資に対し、補助金が交付され、申請から交付決定までに約 3 年を要しました。</p> <p>【経営企画本部長 渡辺哲也】</p> <p>今回の補助金は、いわゆる『サプライチェーン補助金』と呼ばれるもので、コロナ禍におけるサプライチェーンの強靱化を目的とした補助金となります。2020 年の申請が採択され、2023 年に設備が完成、2025 年の稼働開始をもって補助金の交付を受けました。総投資額約 86 億円のうち、約 31 億円の補助を受けております。</p> <p>今後の設備投資に関して、現時点で確定した補助金はありませんが、対象となり得る補助金や減税施策があれば、積極的に応募していく方針です。</p> |

以上